



デイサービスで朝食を

～在宅生活を継続するための新たな支援サービス～



社会福祉法人 光美会
デイサービスセンター人生の里
(いけがいのさと)

介護職員 兼本 まゆみ

社会福祉法人 光美会

デイサービスセンター 人生の里 ご紹介

- ・ 住 所 : 福島県いわき市内郷高野町五合田36-1
- ・ 開 設 : 平成13年4月1日 ・ 職員数 : 20名
- ・ 定 員 : 35名 (単独型デイサービス)
- ・ 営業日 : 月 ~ 土 (祝日も営業)
- ・ サービス提供時間 : 9:30 ~ 16:35 (7時間以上9時間未満)




利用者の状況

- 登録利用者数：78名
⇒男性：23名 女性：55名
- 1日平均：24名
- 平均介護度：2.2
- 平均年齢：82.8歳
- 最高齢：97歳

(平成28年11月1日現在)





朝食サービスの概要


- 対象者 : デイサービス利用者（事前登録制）
- 提供日 : デイサービス営業日（月～土、祝日も可）
- 提供時間 : 9:00 ～ 9:30 * 9:30からは介護保険サービス提供時間
- 料 金 : 180円 * 当日キャンセル無料
- 提供食 : 和食（ごはん）・洋食（食パン）の選択制
- 服 薬 : 持参した朝食前後の薬を職員がサポート

『元気な一日は朝食から』

きっかけ

- お迎えの際に『朝ごはん食べてないから行
- デイサービスに着いてから『朝ごはん
- 離れて暮らす家族が前日や当日の
- 認知症で独居により、食事の摂取や
- 朝ごはんを食べないので、薬も飲ま

デイサービスで
朝食を食べられたら、本人も家族
も安心できるはず・・・
少しでも不安や負担を無くし、
1日のスタートを元気に迎える
支えになれば・・・



取り組んだ課題

1. 朝食を提供する事で孤食や欠食を防ぎ、健康面と栄養面の改善へ

⇒独居の方、高齢者夫婦の方に多い「孤食」、「欠食」などによる食生活の乱れを改善。体調不良や生活意欲の低下を防止する。

2. 食生活と服薬の習慣を取り戻し、体調管理と健康維持へ繋げる

⇒「朝食も食べない」、「朝の薬も飲まない」という悪循環の改善をする。

3. 家族にも自分の仕事や役割があり、在宅生活における負担を軽減したい

⇒在宅生活の継続には家族のサポートが重要であり、24時間の介護には身体的、精神的な負担がある。いつまで続くか分からない家族の介護負担と不安を解消する。

4. 離れて暮らす家族の不安を軽減したい

⇒離れて暮らすご家族の不安要素である利用者の食生活と服薬管理を改善する。

具体的な取り組み①

1. 厨房委託業者との連携

⇒人員体制と提供時間（9:00～）

⇒料金設定（低価格）と提供メニュー

⇒試食会の実施（嗜好を考慮し、和食と洋食）

⇒キザミや一口など食形態の可否





具体的な取り組み②

2. 利用者ニーズの予測と実施に向けた P R

⇒ 居住環境やこれまでの利用状況からサービス利用者を予測

⇒ ご家族、ケアマネージャーへ「朝食サービスの需要」を相談

⇒ P R 用チラシの作成

3. 送迎時間とルートの変更

⇒ 朝食サービスの実施に伴う「送迎」の解釈について行政と確認

⇒ 朝食サービス利用者優先の送迎シミュレーション



デイサービスで 朝食はいかがですか？

『元気な一日は朝食から』

料金は1食180円です。

*当日キャンセル無料



新たな在宅支援として『朝食サービス』はじめました。

- 1人暮らしで朝ごはんを作るのが大変
- 離れて暮らしている家族がいつも準備で大変
- 朝食が面倒なので薬も飲まない
- 朝の忙しい時間を有効活用したい

朝食を召し上がっていただくことで、栄養面と服薬の面から利用者様の体調管理をサポートできること、少しでもご家族の負担を軽減できること、元気にデイサービスを利用していただく事が1番です。

『みんなで元気な朝を！』

- ・朝食サービスは9：00～9：30
- ・和食（ごはん）と洋食（パン）が選べます
- ・朝食後の服薬は職員がサポートします

ー お気軽に右記までお問い合わせ下さい。 ー

＜お問い合わせ先＞

社会福祉法人光美会

デイサービスセンター人生の里

（いきがいのさと）

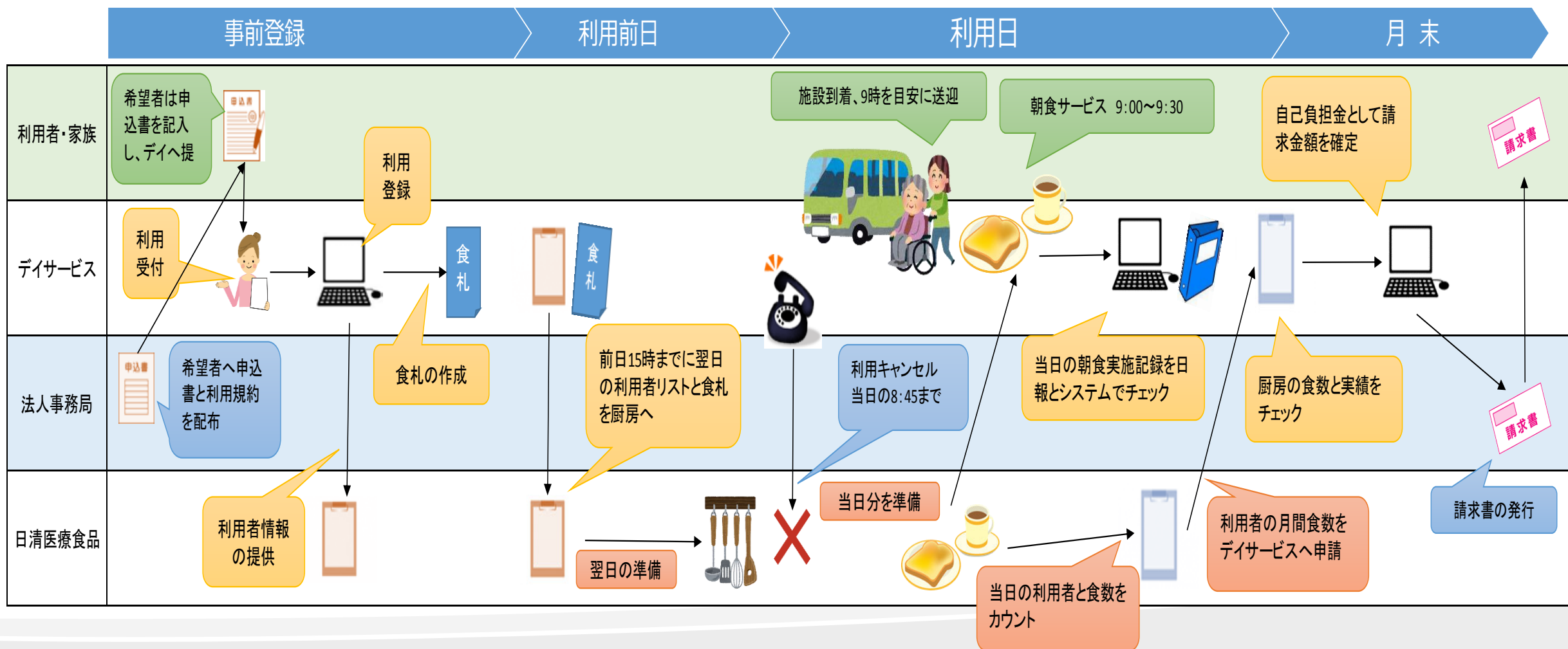
☎ 0246 - 27 - 2500 担当：兼本・長澤



具体的な取り組み③

- 朝食会場の設置と要件
 - ⇒デイルームとは別会場で設置
 - ⇒談話できる環境設定
- 利用登録と運用フローの検討
 - ⇒利用登録から請求までの運用フローを作成
- 服薬情報の管理と健康状態のチェック
 - ⇒朝食前後の服薬サポートと記録
 - ⇒バイタルサインの記録と比較

朝食サービス運用フロー図





朝食サービスの利用状況

(平成28年11月1日付)

- 朝食サービス登録者数：14名（男性：5名 ・ 女性：9名）
 - ①独居の方： 5名 ＊ 認知症の傾向がある方：3名
 - ②家族同居： 9名
- 和食（ごはん）希望者：14名
- 洋食（パン）希望者：1名
- 1日平均4名 ＊ 最大で1日8名が利用中



朝食サービス
洋食の例



朝食サービス
和食の例



朝食会場
(正面)



朝食会場
(裏)



朝食風景①

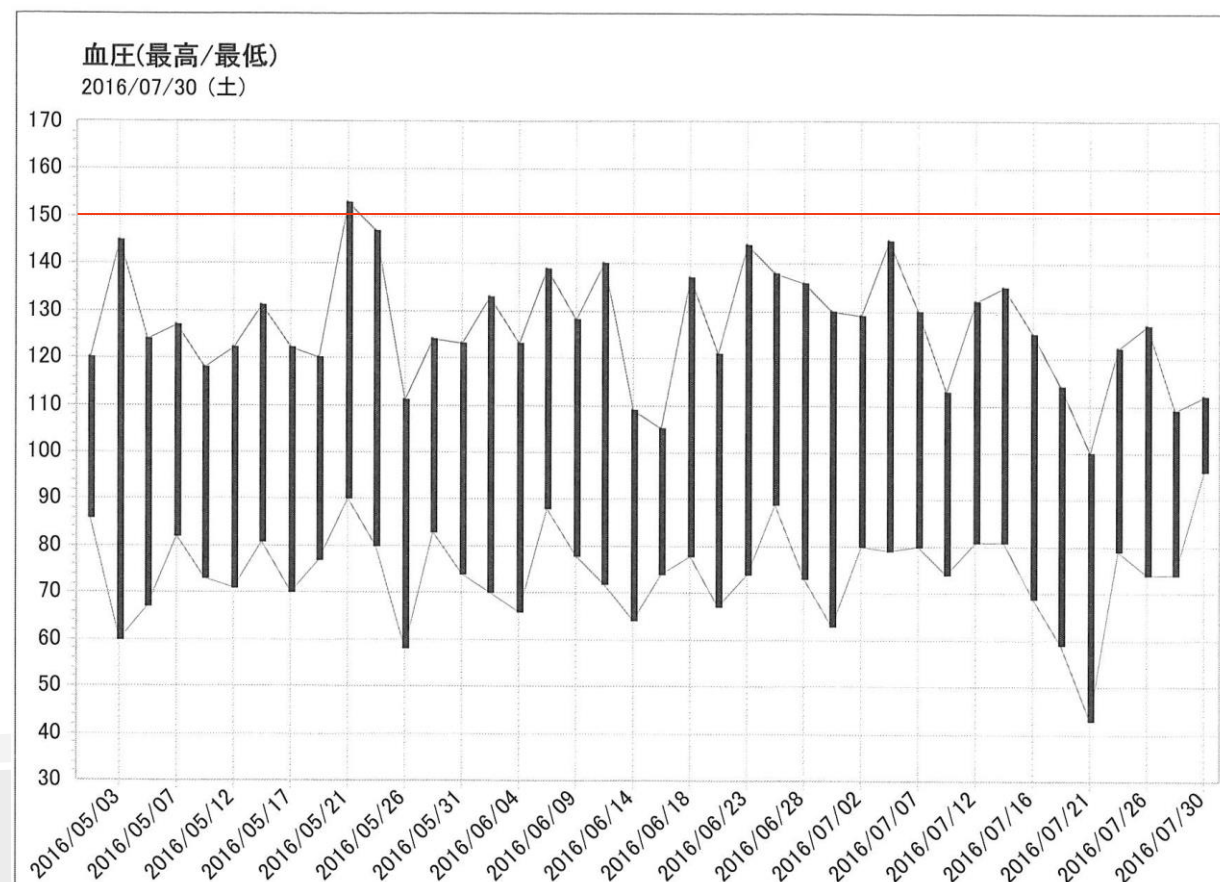
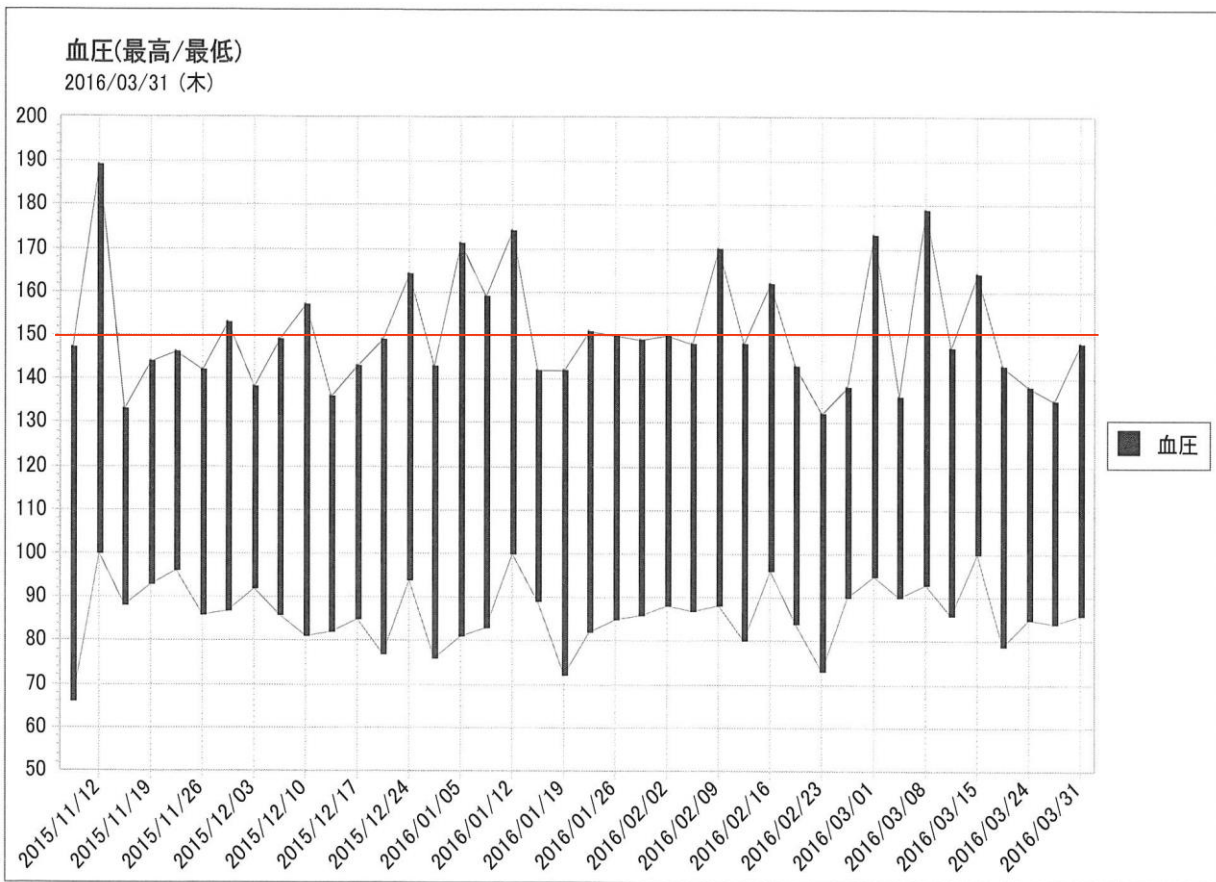


朝食風景②

バイタルサインの比較 例：女性（89歳）

- サービス利用理由：認知症の傾向があり、独居で、毎朝離れて暮らす長男が食事を届けていた。

朝は高血圧の薬を服用している。





活動の成果と評価①

利用者

デイサービスの日は準備などで慌ただしく、朝ごはんも適当に済ませていたが、朝もゆっくりで、温かいご飯を食べれるのがいい

利用者

1人だと食事をするのが面倒で、薬も飲まない時があったが、皆さんと笑って食べる朝食は楽しい。通う楽しみにもなった。

利用者

子供たちへの負担が減って良かった。



活動の成果と評価②

ご家族

朝の時間が有効に使えるようになり、その後の介護にもゆとりが持てるようになった。

ご家族

離れている時間に感じていた服薬や栄養面の不安や心配など、心身ストレスが減った。

ご家族

安心して仕事に行けるようになった。



活動の成果と評価③

ケアマネ
ジャー

独居の方の在宅生活を支援できるサービスとして活用できる

職員

朝食サービスの利用で認知症の方の周辺症状が軽減され、利用者も職員も安心して1日のスタートが迎えられる。

職員

送迎時の朝食状況、服薬の確認など送迎時の負担が軽減された。



活動の成果と評価④

事業所

送迎時間の短縮、業務効率の向上へ繋がり、利用者へ費やす時間が増えた。

事業所

朝食サービスの利用者ならびにご家族より、利用回数の追加申し出をいただいた。

事業所

朝食サービスを利用したいという新規の依頼を受けるようになった。



活動の成果と評価⑤

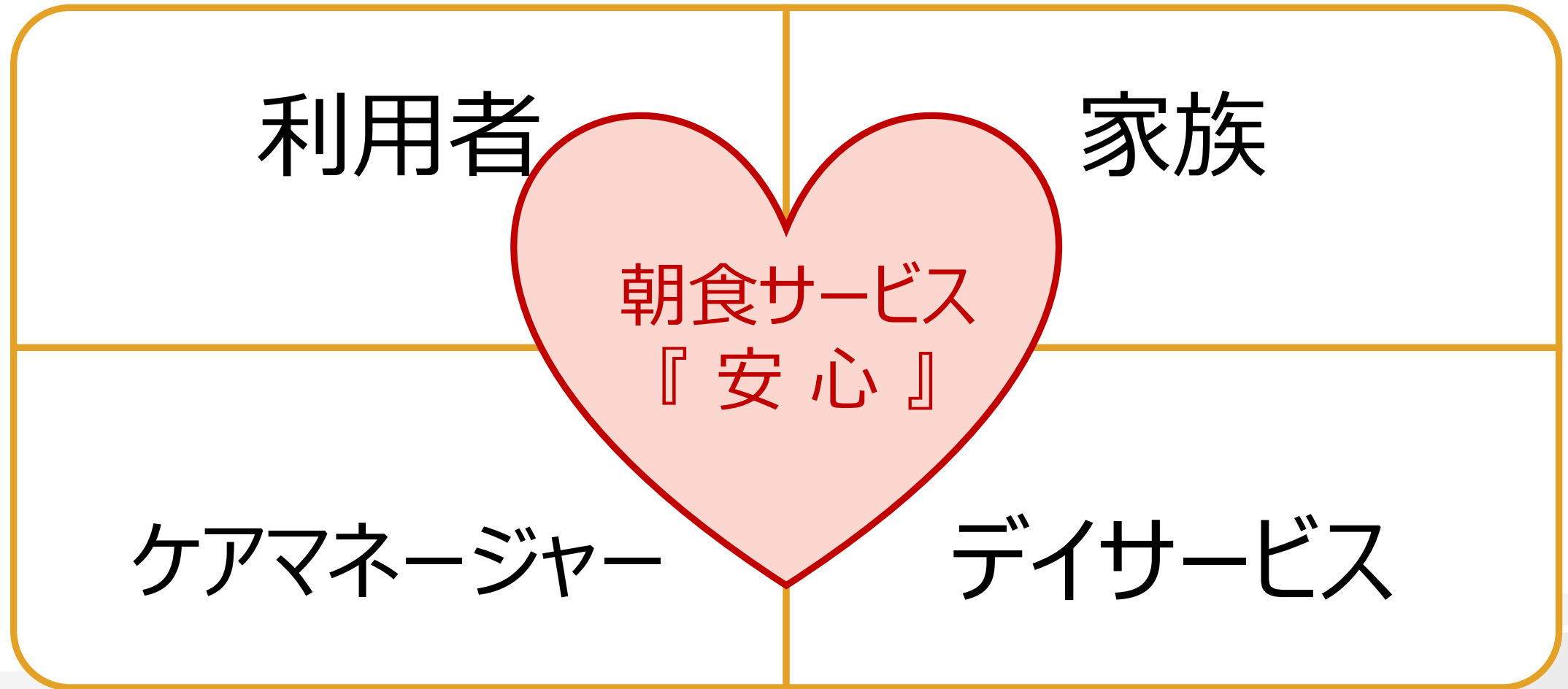
まとめ

食生活と服薬習慣を改善することで、来所時に倦怠感を訴える方も少なくなり、午前中の活動に対する意欲低下が改善され、生活にハリが出た。

まとめ

新たな在宅支援サービスとして定着しはじめ、介護保険外のサービス提供が利用回数の増加など、顧客満足度の向上へと繋がった。

活動の成果と評価⑥





今後の課題

・厨房を有効活用し、朝食サービスのみではなく、夕食の提供または帰りの送迎に合わせた配食サービスなどを検討していきたい。



サービス内容を創意工夫しながら、介護保険サービスに捕らわれることなく、職員や利用者の声を傾聴し、利用者の皆さまをはじめ、地域の皆さまの在宅生活を支援していきたい。